



2020年2月7日

各位

会社名 東京製綱株式会社
 代表者名 取締役社長 浅野 正也
 (コード番号 5981 東証第1部)
 問合せ先 専務取締役 佐藤 和規
 (TEL. 03-6366-7777)

通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月13日に公表した2020年3月期の連結業績予想及び剰余金の配当予想を下記のとおり修正することと致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月通期連結業績予想の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2019年5月13日発表)	67,000	2,000	2,000	1,500	93.04
今回修正予想(B)	63,000	100	400	200	12.41
増減額(B-A)	△4,000	△1,900	△1,600	△1,300	—
増減率(%)	△6.0%	△95.0%	△80.0%	△86.7%	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	百万円 63,967	百万円 854	百万円 908	百万円 153	円 銭 9.52

2. 通期業績予想修正の理由

当初業績見通しに対して、第3四半期までの進捗が十分でないこと、第4四半期では足元堅調な国内防災関連事業などの伸長が期待される一方、開発製品関連事業の大型案件受注遅れや取り巻く経済環境の先行き不透明感を勘案した結果、業績予想を修正することにいたしました。セグメント別の状況は次の通りです。

鋼索鋼線関連事業においては、下期以降の当社主要需要業種である造船や機械関連市況の低迷に加え、漁獲量の減少影響などから、足下で漁業関連の需要が低下し、更には、台風被害による原材料供給の停滞影響もあり、売上、利益ともに想定以上の悪化となりました。

スチールコード関連事業では、第3四半期以降のタイヤコードの需要が低迷し、また、一定の回復を見込んでいた太陽光発電向けシリコンウェハー切断用細物ワイヤの需要も依然低迷しており、国内、中国の両事業ともに収益減となる見込みです。

開発製品関連事業では、主に、CFCC(炭素繊維複合材ケーブル)、海外防災事業の大型プロジェクト案件の受注遅れ、受注済み橋梁物件等の売上が一部来期にずれ込むなどの影響から、当初想定業績から乖離が生じる見込みです。

以上の各セグメントの状況を踏まえ、当初業績予想を下回る見込みとなったことから、業績予想を修正するものであります。

3. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2019年5月13日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 40.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	0.00	—	40.00	40.00

4. 配当予想修正の理由

当社は、財務基盤の強化や事業展開に必要な内部留保を勘案のうえ、安定的な配当継続を基本方針としつつ、事業創造に邁進し、収益力強化を通じた株主還元拡大を目指しております。

しかしながら、当期の期末配当においては、上記の通り、当期純利益が予想を大幅に下回る見込みとなったため、誠に遺憾ではございますが、期末配当予想を無配に修正させていただきます。

株主の皆様には、大変申し訳なく存じますが、昨年より着手しておりますスチールコード事業の抜本的収益改善施策を着実に実行するとともに、成長戦略事業である CFCC、海外防災製品事業の遅れをキャッチアップすること、また、鋼索鋼線関連等の既存事業においても収益基盤を強化することで、早期の業績回復と復配に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上